

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2510

*No. 8* **2**  
*2006.*



**SERVICE Above Self**

## 2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

**塚原 房樹** FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

---

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



---

## 超我の奉仕

---

### C O N T E N T S

---

ガバナーメッセージ	01
ガバナー公式訪問	04
ガバナー補佐会議報告	05
2007-08年度GSEプログラムが マレーシアの3300地区に内定	13
2007-08RI会長ノミネーに ウィルキンソン氏が正式に決定	14
RI3700地区・地区大会のご案内	14
新入会員のご紹介	14
第4回パヴェナ基金訪問記	15
ロータリーの友地区委員よりお知らせとお願い	15
ご協力に感謝申し上げます	16
100%『財団の友』会員クラブ紹介	16
例会変更・文庫通信	17
地区カレンダー（2月・3月）	18
12月の出席率・会員数	19

---

■ガバナーメッセージ



2005 - 2006年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房 樹

**[追悼記念週間]**  
**ロータリー揺籃の地ウォーリングフォード**

会長・幹事さん、寒さ厳しき折からいかがお過ごしでしょうか。お元氣のことと存じます。1月27日を含む1週間はポール・ハリスの追悼記念週間です。ロータリー新世紀を迎えた今、この運動の大河のような今日の姿を源泉にまでさかのぼり、ロータリーの始祖はどのような過程でこの運動のアイデアを得たのか探ってみることは、まことに意義深いことであります。創始者の追悼週間を迎えて始祖の遺徳をしのびながらその心を今に活かしたいからです。そこで「月信9月号」でも少し触れましたが、今回は10年前、ポール・ハリス没後50周年（1996年）を機に訪れたロータリーの古里（ウォーリングフォード）の様子を拙著『ポール P. ハリスの足跡を訪ねて』よりご紹介します。

【1947年1月27日、ポール・パーシー・ハリスは79年に亘る生涯をシカゴで閉じてから既に久しく、50年の歳月を数えるに至った。かねてより、ぜひこの目でロータリーが生まれたニューイングランドの谷間を見たいと念願していたが、ポール・ハリスの没後50周年を機会にウォーリングフォードを訪ねることになった。

ニューイングランドといえば、誰もがメイフラワー号やピューリタン、ハーバード大学やボストン交響楽団を思い浮かべる。ここはアメリカの歴史と文化を代表する地域である。ポール・ハリスは1868年ウィスコンシン州のラシーンで生まれたが、3歳の時に父が事業に失敗したので、ニューイングランドのバーモント州、ウォーリングフォードの祖父の家で預けられた。ロータリー揺籃の地ウォーリングフォードには、ポールが愛した少年時代と変わらぬ四季折々の美しい自然と、祖父の「ハワード・ハリスの家」と彼が通った「赤い小さな学校」、Congregational教会などがある。

ウォーリングフォードに行くにはいろいろな交通手段があるが、オルバニー（ニューヨークの州都）経由で行くことにする。ニューヨークのペンシルバニアステーションから、8時30分発のアムトラック（日本のJR）のモントリオール往きに乗る。車窓の左手には対岸の緑が霞むほどのハドソン河が悠然と流れていて、ヨットハーバーが随所に見える。列車はひたすらハドソン河に沿って北上を続ける。2時間後にオルバニー着、あらかじめ予約しておいたレンタカーで、北ハイウェイ7号線から9号線を北上してウォーリングフォードを目指す。バーモントは仏語で緑の山という意味で、6月のグリーン山脈の新緑は殊の外美しい。楓、柏の中に白樺が点在して、所々にサイロが見え隠れするさまは、まるで北海道の緑豊かな富良野、十勝地方をドライブしているようである。ハイウェイの両側に時々骨董品の店（アンティークショップ）が現れては消える。週末にはニューヨーカー達が大勢このアンティーク街道を訪れる。ここはヤンキーの故郷なのである。

二本のグリーン山脈の間を走ること約2時間、行く手の右側にロータリーマークの立て看板が現れた。愈々ウォーリングフォードにきたのだと心躍る思いがする。楓の街路樹が並び、古い手入れの行き届いた家が点々と散在している村のハイウェイを数百メートル行くと、教会通りの角にポールが少年時代、日曜日ごとに礼拝に通った白いペンキ塗りのCongregational教会が現れた。続いてノースメイン通り沿い右手に祖父のハワード・ハリスの家を見つける。そして道を挟んでその真向かいに、ウォーリングフォードでの今夜の宿、「ビクトリア・イン」の看板がある。ニューイングランドには、歴史的由緒のあるカントリーインが各村々にあり、それぞれ快適なサービスを提供している。「ビクトリア・イン」は1877年に建て替えられた3階建て木造で、フレンチスタイルの堂々とした邸宅をホテルとしたもので、それ以前はポールの自叙伝によると、祖父の友人ウェブスターの店と住まいで、祖父達80代の老人の唯一の社交の場となっていたところである。「イン」は若夫婦の経営で奥さんは

日本人と韓国人の2世で、ご主人は、ドイツ系のスイス人でなかなか腕利きのコックである。悪戯盛りの男の子が2人いるが果たして彼らの血筋は何系に属するのであろうか、ともかくサービス精神に溢れたインターナショナルな明るい家族である。ウォーリングフォードを訪ねられる方は、温かなもてなしと清潔で広々としたベッドと、ひなには希なおいしい食事のあるこの「イン」をお勧めしたい。ただし客室は、大小合わせて5部屋である。さて、インで小休止していると、ウォーリングフォードRCの元会長のディビット・バロー氏と次期女性会長のアン・ラチューカさんが迎えに来てくれた。アン次期会長は、ご主人もウォーリングフォードRCの会員で、日本の向笠広次RI会長（1982-83）が、ウォーリングフォードを訪れた際のクラブ会長だったそうである。親子2代のガバナー、同じクラブで親子の会長の例はあるが、夫婦で同一クラブの会長を務めるというのは大変に珍しい。

まず、ポールが初めてABCを学んだポール・ハリス記念館（親愛の情を込めて、赤い小さな小学校と呼んでいる）を案内された。1928年創立のウォーリングフォードRCの現在の会員数は25人だが、赤煉瓦作りのこぢんまりとしたこの平屋建ての建物が、ウォーリングフォードRCの例会場である。もともとこの建物は、1818年にポールの曾祖父に当たるジェームス・ラストインが建てたものであるが、1928年、ウォーリングフォードRCが属する第787地区が地区内各クラブから募金して買収し、それを1948年にウォーリングフォードRCに寄贈したものである。玄関のドアを入ると小さなテーブルがありその上に25人の会員の胸章が並べられていて、右側には、来訪者を受け付けるテーブルがある。中は一間、6人掛けのがっしりとしたテーブルが左右に8台、これが教室であったとのこと実に質素な部屋、何の飾りもない。しかし、周囲の壁には世界各国から送られたバナーが所せましと架けられ、正面のガラスケースには、ポールの「わがロータリーへの道」の自筆の草稿や、海外旅行で贈られたゆかりの品の数々の記念品が並べられている。中央にはポールが1935年にマニラでの太平洋地域大会出席の途中、来日した際、米山梅吉から贈られた盛岡勇夫氏製作のポールの胸像が安置されている。

ポール・ハリス記念館の1軒おいて隣ノースメイン通りの1849番地に、1853年に建てられたポールの祖父ハワード・ハリスと祖母パメラが住んでいた家がある。この家こそが、ポールが3歳の時より大学に入学するまで過ごした、彼の人格形成の上でかけがえのない神聖な記念すべき家であった。ハイウェイを車で行くと、スレート葺きの屋根にハワード・ハリスの頭文字「H.H」が、1世紀半の風雪に堪えてきた為に色は少し薄れてきたが、大きく描かれているのが読みとれる。白い2階建てのシンメトリカルな美しい、風格のある家で、ポールの自伝には「わが家は大邸宅ではありませんが、それでも14部屋もあり…」と紹介されている。家の周りは美しく刈り込まれた緑の芝生で、道路から玄関までの大理石の石畳の両側には、ピンクの芍薬が美しい。白い玄関のドアにも淡いピンクと白い花々で作られたリースがさりげなく飾られ、ここに住む人々の心の優しさが伺われる。このドアのあるポーチがポールの祖父のお気に入りの場所で、晩年、夏の午前中祖父は決まって此处でぼんやり時を過ごしたそうである。家の右奥に大きな白樺の大木がある。

ポールが小さかった頃は、この白樺も小さかったであろう。ハリス家の果樹園や、野菜畑はあの辺りだったのだろうか、またポールの寝室はこの窓の辺りであったのであろうか。いやが上にも想像は高まり、遙かなる遠い昔、ポールの少年時代のエピソードの数々が頭をよぎる。かつての祖父母のこの家には、ニューイングランドの古き良き時代の家庭を代表する素朴な美德として大切な、犠牲心、献身、名誉、真実、誠実、愛情という、後にロータリーの原点となった他人を思いやる家風と躰があった。ポールが腕白時代を過ごした家の屋根の「H.H」の2文字を臉にやきつけ、去りがたい気持ちを抑えロータリーの揺り籠、祖父母の家を後にした。

ポールの少年時代、手持ち無沙汰の子供たちに一番人気があったのは「デポ（Depot）と呼ばれた鉄道の駅であった。ポールは夜の10時になると祖父母の眠りにつくの待ちかね、自分の部屋の窓からそっと抜け出し、機関手に気づかれないように機関車の最先端（エプロン）に座り込み、暗闇の中を近くのマンチェスター駅まで命がけの往復をした。その鉄道も廃線となって久しく、現在、消防署となっている旧ウォーリングフォード駅舎を訪ねる。「ずっと昔のある夏の夜、父、5歳の兄セシル

と2歳年下の私の3人でアメリカ東部のバーモント州、ウォーリングフォードで汽車から降りまし  
た」と自叙伝『わがロータリーへの道』の第1章にあるとおりポールにとっては、わが懐かしき故郷  
の谷間に第一歩を記した記念すべき場所である。駅の側をロアリング川が流れている。橋を渡り林の  
中の道をフォックス池へと向かう。エルフィン湖とも呼ばれるこの池は、かつてポールの叔父ジョー  
ジ・フォックスが所有していたことがあった。森に囲まれた美しい池は、ウォーリングフォードの子  
供たちの格好のリクリエーションの場でもあるし、放牧された牛たちの水飲み場でもある。長さは南  
北に1マイル、対岸まで半マイル、ポールが初めて泳ぎを覚えたところである。そして秋になり周囲  
の木々が色づく頃、茸がたくさん採れるそうである。向笠広次RI会長がここを訪れたとき、子供たち  
がこの森で茸を狩りバーベキューをしてもてなしたそうである。

次に村のはずれのウォーリングフォードの「グリーンヒル墓地」を訪ねる。なだらかな芝生が丘の  
上まで広がり、近隣の山から切り出された大理石の大小の墓標が初夏の日ざしを受けて点々と羊の群  
のようである。ハリス家のゆかりの人々の墓は、墓地のゲートをくぐり約50メートルほど真っ直ぐに  
進み、そして右へ30メートルほど行ったところにある。その中でも高さ2メートルほどの、一際立派  
な尖塔が目につく。それがハリス家の墓で、下の台座には、ハワード・ハリスとパメラ・ハリスの祖  
父母の名前が記されている。両親と縁の薄かったポールは、祖父母をまたとなく慕っていた。後に彼  
は人々に対する奉仕の新時代を開いたが彼の人格を形成し、そうした資質をポールに植えつけたのは  
祖父母であった。その意味からも祖父ハワード・ハリスと祖母パメラ・ハリスの名は決して忘れては  
ならない。この二人こそロータリーの基礎を築いた功労者なのである。謹んで偉大な教育者の墓前に  
感謝の祈りを捧げる。

ニューイングランドの自慢は緑あふれたグリーン山脈と、四季折々に表情を変える湖沼の美しさで  
あろう。この田舎の美しさや田園生活の魅力に取りつかれた、作家、芸術家にはあこがれの聖地であ  
ったこともうなずける。ニューイングランドは、まさにアメリカの歴史と文化を代表する地域なので  
ある。ポール・ハリスは、自分の家系を辿るとピルグリムファザーズにまで遡るともらしたことがあ  
る。

1620年メイフラワー号で新大陸にやってきたピューリタンたちは「丘の上の町」としてみんなが仰  
ぎ見るような、教会を中心とした社会を作ろうとした。このイギリスからやって来た初期の移民は、宗  
教、言語、風習も等しく、厳しい自然の中でまとまりのある社会を形成した。そして他人を頼らず、勤  
勉と節約を旨とし発明好きで、進取的なヤンキー気質を持つ人間がここに生まれた。彼らは宗教や学  
問と共に、こうした生活態度をアメリカ各地に広めようと勤めた。その結果ニューイングランドは、「丘  
の上の灯台」として、文化的影響力を強め、もともと「ニューイングランド生まれの人々」を意味し  
た「ヤンキー」はアメリカ人の代名詞となった。ロータリーはこのような歴史的背景の中、ニューイ  
ングランドの谷間で産声をあげたのである。再び自叙伝より…「長い人生を振り返ってみると、ある  
ときには重要だと思ったことが、年を経ると重要でなくなったり、また最初はたいしたことではな  
いと思ったことが、後でこれはとても重要だと気がつくものがあります。犠牲、献身、名誉、真実、誠実、  
愛情はニューイングランドの古き良き時代の家庭を代表する素朴な美徳として大事なものです」…】

少し長くなりました。村の訪問記を書いたのは丁度10年前の6月のことでした。ウォーリングフォ  
ード村は村の地図を見ても130年前、ポールの幼少のころとあまり変わっておりません。200年前の教会  
や150年前の住宅・民家がそのまま現存して使われていました。美しい自然も、もてなし好きな村人  
の気風もそのままでした。この村では古き良きアメリカにタイムスリップできます。ポールはシカゴ  
の多忙な暮らしの中から、この村に帰省することを何より楽しみにしていました。ロータリー運動と  
は100年前の暗黒の街シカゴにおいて人々の心に潤いを与える、村の人たちのこまやかな人情、犠牲、  
献身、寛容など、ピューリタンの訓えの復興運動でした。追悼記念週間に当たりロータリーの古里に  
思いを馳せ、シカゴのマウントホープ墓地に眠る始祖のご冥福を皆さんとともに祈りましょう。

ガバナー公式訪問ではありがとついでいきました



札幌はまなすRC公式訪問 (10月25日)



苫小牧北RC公式訪問 (10月25日)



札幌RC公式訪問 (10月26日)



札幌東RC公式訪問 (10月27日)



函館セントラルRC公式訪問 (11月29日)



# ガバナー補佐会議報告

## ～グループ別各クラブの活動報告・計画～

2006年1月21日 札幌ロイヤルホテルにて開催



### 第2回ガバナー補佐会議

2006年1月21日(土)札幌ロイヤルホテルにおいて、丸山ガバナー・エレクト、遠藤正之地区ロータリー財団委員長、各ガバナー補佐を迎え、第2回ガバナー補佐会議を開催しました。各ガバナー補佐からは担当グループの上半期の活動を報告して戴き、遠藤財団委員長からは財団の現況についてお話を戴きました。また、下半期のスケジュール、IMの開催等を確認し合い閉会しました。各グループの上半期報告については下記をご参照下さい。



### 第1グループ



ガバナー補佐  
**吉本 勲**

第1グループ各5クラブを夫々1回ずつ訪問した。

1) 9月16日(金) 小平RC、小平文化交流センターにて例会出席。

「超私の奉仕」の理解について。

米山梅吉氏はService Above Selfを「奉仕が一番、自分のことは二番目」と生前このように訳して、しばしば口にされていたとのことであるが、スペインロータリークラブではDar de Si, antes de pensar en Siという。翻訳すれば「先ず他人に自己を与えよ、そののちに自己のことを考えよ」で、米山氏の考え方とぴったり一致する。このことを中心にスピーチを行った。

2) 9月20日(火) 深川RC、プラザホテル板倉にて例会出席後講演。

「超私の奉仕」の理解と強調。

最近のロータリークラブの風潮として、例会等がとかく親睦の側に流れがちであり、奉仕の理念が形骸化している。青年層はロータリークラブのような規則、規律のきびしいところには入会しようと思わず、中年世代は入会しても奉仕の理念を省みることがあまりにも少なく、熟年者は単に慣習として例会に出席して

いるだけで(出席率だけは異常に高い)、進んで奉仕の道を歩もうとする意欲に乏しい。この点、反省材料であることを強調した。

3) 10月5日(水) 留萌RC、留萌産業会館にて例会出席後講演。

日本社会において青年層のいわゆる「ひきこもり」現象やニートの存在が問題視されているが、このような風潮は実は成人社会にも及んでいる。孤独、内閉、抑うつ、が日本人を支配する今日の精神像である。このことがロータリークラブの精神面にも影響を及ぼし、万事、ことなかれ主義で往年の活力が失われつつあるのではないか、ということを中心に話題提供を行った。

4) 10月6日(木) 羽幌RC、サンセットプラザ羽幌にて例会出席。

留萌RCにおけるスピーチとも関連するが、会員減少をもっぱら経済的不況に原因があるとする向きがあるが必ずしも正しいとは言えない。積極的な人と人との交わりや関わりをとにかく避けようとする一種の退廃現象、今日の日本人のいわばタコソボ型の生き方が会員減少につながっているのではないか、ということを中心として強調した。

5) 10月26日(水) 妹背牛RC、妹背牛商工会館にて例会訪問。

第1グループガバナー補佐として本年度グループ目標を先ず「超私の奉仕」の理解、ついでRCそのものの簡素化(お金、労力、時間、言葉のすべて)としたが、この簡素化の線に則して地区大会等の在

り方についてスピーチ、のち会員諸氏と活発な論議を展開した。

年次頭初のガバナー補佐訪問であるから、各クラブの活動状況については報告しえない。次回活動報告書においてそのことを果したい。

### 第2グループ



ガバナー補佐  
**千葉 清**

#### ■会長・幹事会の開催について

第1回 平成17年4月20日

於：砂川パークホテル 出席 10人

- ①ガバナー公式訪問日程の確認
- ②IMに関する意見交換
- ③ガバナー補佐のクラブ訪問について
- ④その他

第2回 平成17年8月31日

於：滝川ホテル三浦華園 出席 11人

- ①IMに関する事項
  - A. 平成18年2月25日開催決定
  - B. タイムスケジュール
  - C. 登録料@5,000円
  - D. メインプログラム→塚原房樹ガバナーに、記念講話依頼

第3回 平成17年12月16日

於：赤平おでんのいのし 出席 11人

- ①次年度(06-07)第2グループ担当ガ

バナー補佐推薦について

- ②IMプログラムについて
- ③各クラブ上期活動報告提出の件
- ④その他

第2グループ特記事項

- ①会員増強・退会防止は、滝川RC以外の各クラブは、共通して会員の退会防止と増強に妙薬がなく苦慮している。
- ②R財団寄付については、各クラブとも下期に向けて、当初予定をクリアすべく努力している。
- ③米山記念奨学金寄付についても、各クラブとも下期に向けて、当初予定をクリアすべく努力中です。
- ④各クラブの特徴・問題点は、下記の各クラブの報告書参照。
- ⑤各クラブ奉仕プロジェクトについても、下記の各クラブの報告書参照。

■担当グループ特記事項

(1)芦別ロータリークラブ

- ①会員増強について
 

2005年7月1日現在会員数	48名
12月31日現在会員数	48名
下期の増強予定について	2名
12月末日をもって、2名退会	
2006年1月1日現在会員数	46名
- ②ロータリー財団への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	\$ 0
12月31日現在寄付合計額	\$ 0
下期寄付予定額	\$ 4,600
- ③米山記念奨学会への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	0円
12月31日現在寄付合計額	0円
下期寄付予定額	192,000円
- ④クラブの特徴・問題点について  
会員の増強予定がない中で、会員退会に歯止めがかからない。故に、RCの魅力如何にアピールして会員勧誘をしたら良いのか悩んでいる。
- ⑤奉仕プロジェクトについて  
職業奉仕⇒「職場訪問」→ 本年は10月20日に、市内の認知症グループホームを訪問し、見学を通して、現状を把握し意識の向上に努めた。  
社会奉仕⇒「協同奉仕」→赤い羽根募金は恒例となっており、今年も募金や年末助け合い運動は、クリスマス家族会の時チャリティーオークションを行い本年は150,000円を募金。  
国際奉仕⇒芦別市国際交流協会と連携し、今年も芦別市と姉妹都市の関係にある、カナダ・シャーロットタウン市に、中学生派遣事業に協力。

(2)赤平ロータリークラブ

- ①会員増強について
 

2005年7月1日現在会員数	34名
12月31日現在会員数	34名
下期の増強予定について	

2006年1月1日付けにて新会員1名入会を決定しております。

- ②ロータリー財団への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	\$ 3,400
12月31日現在寄付合計額	\$ 3,400
下期寄付予定額	未定
- ③米山記念奨学会への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	0円
12月31日現在寄付合計額	0円
下期寄付予定額	クラブ内で検討中

- ④クラブの特徴・問題点について  
特 徴：各種事業への参加が非常に良いこと。会員相互のコミュニケーションがよく、各種事業への提案が常に話し合われている。  
親睦事業にも積極的に参加する。ローターアクトクラブ活動に積極的な協力と援助をしている。

問題点：例会に欠席する会員が決まっており、今後の働きかけが重要と考えると同時に、100%出席目標例会を実施している。(毎月第1例会日)  
会員数が少ない分、各委員会活動に支障があると思えます。今後クラブ細則の見直しをして、委員会の併合も検討したい。

- ⑤奉仕プロジェクトについて
  - 市内小・中学校障がい児童、及び卒業後の障がい児施設の生徒に対する奉仕活動として30年に及ぶ「お楽しみクリスマス会」事業の実施。
  - 「ワンコイン・ワンフラワー」活動に参加(サルビアの花壇作り)
  - 市内小規模事業所の健康相談事業の実施。
  - 米山功労者、PHFの誕生者の拡大に努める。

(3)滝川ロータリークラブ

- ①会員増強について
 

2005年7月1日現在会員数	108名
12月31日現在会員数	109名
下期の増強予定について	
2006年1月5日入会	1名
- ②ロータリー財団への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	\$ 10,700
12月31日現在寄付合計額	
(進捗率80.69%)	\$ 8,634
下期寄付予定額	\$ 2,066
- ③米山記念奨学会への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	1,284,000円
12月31日現在寄付合計額	
(進捗率68.93%)	885,000円
下期寄付予定額	399,000円
- ④クラブの特徴・問題点について  
会員100名を超えるクラブですが、従

来同様まとまりがあり、概ね初期に掲げた活動計画通り推移しており、特に問題はありません。

- ⑤奉仕プロジェクトについて
  - ◎9月11日(日)「新世代環境フォーラム」新世代活動推進委員会事業  
滝川市内3高校の生徒、先生60名の参加による環境保護への取り組み発表及び意見交換。  
クラブ会員、市関係者、一般市民等出席者多数。「環境について考える良い機会になった」「学校の垣根を越えた生徒間の交流は初めて」等々、継続事業を望む声が多かった。

◎10月30日(日)「2005ドイツでいこう! in Takikawa」社会奉仕委員会事業  
本年は「日本におけるドイツ年」であることに因んで、滝川市におけるドイツのエコと食のセミナーを、滝川市と協賛で開催。外務省、環境省、ドイツ大使館、北海道の後援。講演会、料理講習会、試食会等を通じ、環境先進国ドイツに学ぶべき事例や、地元の食材を有効に利用するドイツの食生活を手本に、滝川市の「地産地消費」を考え直すことを事業の趣旨とした。  
クラブ会員、一般市民等200名の出席、各新聞社の記事掲載の他、NHKテレビにも放映された。

(4)砂川ロータリークラブ

- ①会員増強について
 

2005年7月1日現在会員数	52名
12月31日現在会員数	52名
下期の増強予定について	1名
- ②ロータリー財団への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	\$ 5,000
12月31日現在寄付合計額	\$ 2,000
下期寄付予定額	\$ 3,000
- ③米山記念奨学会への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	677,500円
12月31日現在寄付合計額	440,000円
下期寄付予定額	139,500円
- ④クラブの特徴・問題点について  
例年通り、出席率が96%前後と高く、特に問題なしと考えます。
- ⑤奉仕プロジェクトについて  
社会奉仕委員会  
1.献血事業広報推進事業(8月24日、献血者36名)  
2.赤い羽根街頭募金への協力(10月4日、参加者20名)  
3.ノーマライゼーションふれあい体験学習「林檎狩り」(10月6日)  
三谷果樹園にて林檎狩り、ゲーム、食事会にRC会員23名、生徒13名、父母12名、先生14名の参加を頂き盛大に開催された。

新世代委員会



1. 「イカダで川下り」(7月19日) 昨年は雨で中止になったが、今年はまずまずの天気でしたが風は冷たく7月とは思えない天気でした。ロータリー号は、イカダ乗り名手・西川悦郎会員に乗って頂きました。子供達の参加費や昼食代の援助をはじめ、会員と焼肉を通してふれあいの時間がもたれました。
2. 「農業体験、収穫、調理」(9月3日) 農作業には丁度良い気候の中、沢山の親子とRC会員が一緒になり、芋ほりやトウキビ等の収穫に汗を流しました。その後、収穫した作物でパーベキューを楽しみましたが、自分達が育てた作物の味は格別だったようです。

#### 国際奉仕委員会

2006年5月実施予定の「国際交流会」の開催に向けて、8月24日に砂川市教育委員会の英語指導助手、カナダ・ブリティッシュコロンビア州出身のタリン・オルソンさんと通訳に砂川市社会福祉課で勤務の齊藤隆史さんのお二人を招き、「世界から見た日本、又は日本人」と題して、1)出身地のビクトリア市の様子、2)日本に来た動機、3)砂川の第一印象、4)生活習慣・文化・教育等の外国と日本の違い等を、インタビュー形式で行った。

### 第3グループ



ガバナー補佐  
**円子 保**

#### ■会長・幹事会の開催について

第1回 5月17日(火) 出席 20人

- ①第3グループ行事日程について
- ②ガバナー公式訪問について
- ③クラブ訪問について
- ④親睦行事について
- ⑤IMについて

第2回 8月16日(火) 出席 18人

- ①クラブ訪問について
- ②IMについて
- ③親睦行事について

#### ■担当グループ特記事項

- 美唄ロータリークラブ

専修大学北海道短期大学の中国人留学生29名全員を国際交流事業として例会及びクリスマス家族同伴例会に招待し交流をはかっている。

地域で顕著な奉仕活動をされた団体、個人を褒賞。

- 江別ロータリークラブ  
2001-02年度から『ネパール日本友情学校』校舎建設を継続し、現在は増築事業として進めている。  
ホテル生息地の清掃。アオサギ・コロニーへの奉仕。
- 江別西ロータリークラブ  
酪農大学に国際親善奨励資金制度を設けており、今年は韓国の学生が日本学術協会から研究員として認定された。  
ロータリー財団奨学生のスポンサーを今年度の目標とし活動している。
- 岩見沢ロータリークラブ  
中学生野球大会の主催。市民パークゴルフ大会の実施。  
当地区第4位の会員数を維持し、所帯が大きく地域に根をおろした活発な活動に力を発揮している。
- 岩見沢東ロータリークラブ  
ロータリー財団及び米山について会員の理解を深め、100%ポール・ハリス・フェロー・クラブを達成した。  
『スリランカ子供基金北海道』を創設し、継続して充実させている。
- 栗沢ロータリークラブ  
伊藤アキ会長はクラブ運営方針に“人の幸せを願うロータリークラブづくりを目指したい”と述べ、難しくなく共感を呼んだ。北海道福祉村に当地区ガバナーが長年にわたり記念植樹をしている。
- 山ノ上ロータリークラブ  
早期に3名の会員増強を達成し、更に相応の候補者を持っている。砺波市との交流事業が盛ん。次年度ガバナー補佐クラブとして準備を進めている。
- 当別ロータリークラブ  
スウェーデンの都市との提携で学術や様々な交流を長年続けている。  
30周年記念式典・事業が10月8日盛大に行われた。

#### ●第3グループ

2006年5月11日(木)に予定しているIMは、全員で経費負担し親睦・交流を大切にしたい内容でできるだけ多くの参加者で実施できるよう計画中。

### 第4グループ



ガバナー補佐  
**坂本 勝彦**

#### ■会長・幹事会の開催について

第1回 5月24日(火) 20人

- ①顔合わせ、懇親

第2回 1月16日(月) 36人

- ①IMについて、第4・5合同

### 第5グループ



ガバナー補佐  
**五十嵐 勤**

#### ■会長・幹事会の開催について

第1回 7月21日(日)

札幌パークホテル 出席 13人

- ①第4・5グループ合同IMの開催の件  
(ホストクラブ、コ・ホストクラブの件)
- ②ガバナー公式訪問の件
- ③札幌西RC創立45周年記念の件

第2回 9月14日(水)

ルネッサンスサッポロホテル 出席 14人

- ①地区大会の件

第3回 12月1日(日)

ホテルライフオーツ札幌 出席 12人

- ①第4・5グループ合同IM開催のテーマ、日程の件
- ②次期第5グループガバナー補佐の件
- ③1月以降の行事日程の件

#### ■担当グループ特記事項

- 札幌東ロータリークラブ  
ガバナー輩出クラブであり、会員数においても第5グループ最大の会員数と人材に恵まれたクラブである。今年度10月15日～16日の地区大会も約1800名の会員を迎え、また第3700地区のガバナー及び多くの韓国会員も迎え、意義のある成果として評価されました。各委員会活動は地区委員会に多くの人材を輩出し、地区大会を始めとする各行事が前半に集中したためもあり、今年度後半に消化される模様である。
- 札幌清田ロータリークラブ  
柏倉会長の若き明解なる指導力で明るく例会が開催され、女性会員の積極的な活動が見られる。地域住民と共同で市有地にパークゴルフ場を造成し旧年度と合わせて今年度18ホールとなり、住民との間でコンペを開催するなどユニークな活動が目まぐるしく。環境問題も地域住民と連携し、有明地区に放置されている粗大ゴミも地域住民、地権者、札幌市、災害防止協力会と共催で対応している。
- 札幌南ロータリークラブ  
豊富な人材で地区委員会に多数の委員を送り出し、また青少年関連でも羊ヶ丘養

護園との収穫祭やローターアクト等の活動では地区でも大きい実績を誇るクラブである。

一時大きく会員の減少が見られたが漸次回復し安定した運営と共に活発なる活動が見られる。

今年度も8月19日(金)に第2000回記念例会を迎え、スポンサーである札幌東RC、誕生のホストをした札幌真駒内RC、北広島RC、札幌清田RC、札幌大通公園RCの各クラブと合同の記念例会も白石区のアサヒビール園で開催し大盛況の例会であった。

- 札幌真駒内ロータリークラブ  
佐藤会長の柔軟なる指導力で次期ガバナー輩出のための人員の配置、ガバナー事務所の開設、次年度地区大会の段取りなどを対応している。

ガバナー輩出クラブとしては会員数が少ないため、会員一同一致団結した活動は見事である。

- 札幌南ロータリークラブ  
武部会長の強烈なる指導力で種々の改革が見られる。市内第4・5グループで2番目に歴史を誇るクラブで今年度6月5日(月)の創立50周年記念に向け、豊富な人材と今日迄の伝統ある運営は会員の増強を含めて円滑なる運営が計られている。

- 札幌大通公園ロータリークラブ  
例会日が毎週月曜日午後6時より毎週金曜日午後6時30分に8月より変更になった。その第1日目の8月5日(金)にガバナー公式訪問となる。会員数は19名であるが、今年度中に5名の増加を見込んでいる。学友を含めて札幌学院大学の学生と共に札幌雪まつりの雪像の製作参加を計画している。少人数だがユニークな活動が光る。今年度5月28日に創立5周年記念行事を予定している。

- 札幌セントラルロータリークラブ  
バスター・ガバナーの石垣会員を中心に熱心にロータリーの勉学に励んでいる。荒又会長の柔らかい指導力で家族的な雰囲気、会員の退会に歯止めをかけ、2名~3名の増員を目標に運営されている。

- 新札幌ロータリークラブ  
今期上期で3名の会員増強がなされた。割箸回収も継続事業として取り組み、シェラトンホテル、アサヒビール園、その他より回収し江別の王子製紙江別工場に持ち込み、リサイクルで再生紙としての活用を計っている。今年度は2月18日(土)に第4・5グループ合同によるIMのコ・ホストクラブとして協力体制を整え対応している。

交換留学生、米山学友との交流も盛んで青少年問題も過去に作成したエコノートと共に熱心に取り組んでいる。

第6グループ



ガバナー補佐  
北川 暁一

■会長・幹事会の開催について

第1回 7月4日(月) 出席 15人

- ①ガバナー公式訪問の件
- ②ガバナー補佐クラブ訪問の件等

第2回 12月12日(月) 出席 19人

- ①地区ガバナー補佐次期候補者推薦の件
- ②米山奨学生博士号修得にかかわる期間延長の関係クラブ援助

■担当グループ特記事項

- 第1回はガバナー公式訪問の各クラブ日程の確認、対応について

歴代ガバナー補佐は所属RCの予算を結構な数字消費しているため、クラブ予算に迷惑をかけぬよう訪問時の登録料を徴収しないこと、各クラブで痛みを分け合う協力をするを取り決めた。

- 第2回は次期ガバナー補佐候補者推薦について

これについて過去、小樽3クラブと後志4クラブとの交代制をとってきたが、その都度、その時になって事情を持ち出したり、何とか当らずに逃げをうったりで、時間と腹の探り合いで、グループ内の結束に欠けること間々あったので、最初次期と次々期の予定クラブの話を進めていたのですが仲々に進まず、どのクラブも例え人数が少なくとも立派な方、出来る方は在籍なので、いっそ6グループで輪番にしては、と具申した処、意見の一致をみ、順番が確定。各自のクラブが何年後に廻って来る、予定と心の準備が出来ると一同賛成となった。

- 米山奨学生の援助について—小樽南クラブ

第6グループの交換留学生補助金運用規約の第1条、この積立金の対象は地区青少年交換委員会の交換プログラム、またはこれに準ずるプログラムを実施するグループ内クラブとする、を広義解釈。これに当てようと(米山奨学生も学生とし、同地区・同大学も博士課程はないので合格の上)地区青少年プログラム補助金額、長期(1年間)36万円を補助することとし、グループ内全クラブ会長の賛成を得た。

※グループ内ガバナー補佐の順番

- 2006-07年度 余市RC
- 2007-08年度 小樽銭函RC
- 2008-09年度 岩内RC
- 2009-10年度 小樽南RC

2010-11年度 倶知安RC  
2011-12年度 小樽RC

第7グループ



ガバナー補佐  
望月 良典

■会長・幹事会の開催について

第1回 7月1日(金) 12人

- ①IM開催の意見交換
- ②クラブ訪問の日程調整

第2回 10月7日(金) 13人

- ①IM打合せ
- ②次期ガバナー補佐クラブの選出

第8グループ



ガバナー補佐  
出口 弘史

■会長・幹事会の開催について

第1回 7月20日(水) 出席 12人

- ①2005-06年度各RCの活動推進等について交流
- ②第8グループのガバナー公式訪問について
- ③ガバナー補佐特別委員会の設置と各RCの負担金について

第2回 10月12日(水) 出席 12人

- ①次期ガバナー補佐の選出について
- ②第8グループ「おじゃまします例会」の実施について

■担当グループ特記事項

- 各ロータリークラブの訪問
  - 6月6日(月) 三石RC
  - 6月7日(火) 様似RC
  - 6月8日(水) 静内RC
  - 6月9日(木) えりもRC
  - 6月14日(火) 浦河RC
- 他に夜間例会、G補佐選出に関するえりもRC、静内RCの例会に行っている。
- ガバナー公式訪問について
  - 8月23日(水) 浦河ウエリントンホテル
  - 9:00~12:20 会長・幹事懇談会  
(浦河RC→様似RC→三石RC→静内RC→えりもRC)
  - 12:30~13:30 第8グループ合同例会  
出席者数 102名

- 静内RC32名、三石RC14名、浦河RC34名、様似RC10名、えりも10名、地区2名
- 第8グループ新入会員（8月23日現在）  
えりもRC1名、浦河RC3名、三石RC1名、静内RC5名
  - 次期ガバナー補佐選出の件について  
第8グループは各クラブ持ち回りでやってきたが来年度えりもRCの順でしたが、色々な事情があり引き受ける事が出来ない事になり、今回は特別に他クラブをお願いしました。今後は各クラブで順に引き受ける事が約束されました。また、8グループ（5RC）は20名前後のクラブが3クラブあり、皆で協力をしてRCを盛り立てていきたいと思えます。  
10月 えりも、様似、浦河RC合同パークゴルフ大会  
11月 様似RCおじゃまします例会  
12月 静内RCクリスマス家族会
  - えりもロータリークラブ  
8月28日(日)えりもロータリークラブ主催少年野球大会。浦河町から広尾町まで7チームが参加。会長・幹事他、社会奉仕、子供委員会中心に会員全員で運営した。  
10月29日(土)秋の町内ゴミ一掃クリーン作戦。小学生、各種団体、自治会、会員中心に約40名参加。  
11月17日(木)えりも高校へボランティア助成金交付。会長・新世代委員長が高校を訪問。  
その他：夜間例会2回開催。合同例会10名参加。地区大会10名参加。議場コンサートへ協賛金交付。
  - 三石ロータリークラブ  
①例会での卓話の特徴  
2006年3月31日に三石、静内の二町が合併するので、それに関する卓話を取り入れた。  
8月29日：三石町花卉センターの見学  
11月21日、28日：町村合併事務の進行状況と今後の見通し  
②青少年活動への支援  
三石リトル野球スポーツ少年団が全国スポーツ少年団交流大会に参加する事に対し、三石RCより3万円を補助した。（8月10日）  
③三石町図書館に支援（昭和49年から）  
三石RCの継続事業で、今回で28回目となる。  
今年度の寄付金額は5万円の予定（2006年1月）寄付金の累計金額は160万円となる。
  - 様似ロータリークラブ  
7月27日：日高森づくりセンター主催の『森と遊ぶ』を後援 参加 10名  
8月9日：様似町郷土館見学

- 参加 11名  
9月11日：様似郷土館特別展見学 参加 9名  
9月18日：浦河RCとの交流会（パークゴルフ）参加 18名  
10月16日：地区大会参加 参加 12名  
11月23日：おじゃましますプログラム（夜間例会）開催 参加 30名  
12月18日：そば打ち体験会 参加 11名
- 静内ロータリークラブ  
理事会開催11回、会長出席委員会10回、歴代会長会議1回  
職業奉仕委員会：  
移動職場例会1回（8月3日）、地区職業奉仕委員長卓話1回（10月5日）  
社会奉仕委員会：  
乗馬を使った交通安全啓発1回（9月28日）  
中部日高青年会議所との交流、ソロプチミスト会員17名、1回（11月30日）  
※交流会は、今後の地域社会への奉仕活動の連携を視野に於いて
  - 国際奉仕委員会：  
ガンボジア難民達の教育施設に基金拠出20万円
  - 新世代奉仕委員会：  
静内RC杯小学生バレーボール日胆地区親睦大会の開催（7月30～31日）28チーム参加  
静内インターアクトクラブ海外研修（8月2～6日）韓国  
新世代奨励賞表彰6団体、1個人（12月21日）
  - 財団委員会：  
会員100ドルの年次寄付を実行（12月10日）
  - 会員増強委員会：  
新会員9名の入会で7名の増強となる。
  - 浦河ロータリークラブ  
クラブ奉仕委員会：  
奉仕の原点に則り、各委員会委員長と共に連携し、活動に関与してきました。隣接するクラブ間に於いても連絡を取り合い、上期においては『おじゃまします会』の第一回を実現、親睦委員会の進行で様似RCとの『パークゴルフ大会』も実現し、活性化に結びつくものと思っております。下期も各委員会と連携を執り、努力いたします。
  - 職業奉仕委員会：  
上半期は『魚井一生氏の講演』・『国際ソロプチミスト後援カンツォーネ鑑賞』などの紹介をはじめ、『老人とともに歩む会』の支援等、会員の皆様のご協力を得て、充実した活動ができました。  
特に、プログラム委員会の連携により、移動例会では測候所の見学や、JRAの

施設見学等が実現できました。  
下期も皆様の協力を頂き、頑張りたいと思えます。

社会奉仕委員会：  
上期は『西幌別駅清掃』に始まり、『港祭りパトロール』『交通安全街頭啓発』『浦河町交通安全町民大会』等、積極的に町内のボランティア活動に参加しました。これも会員の皆様のご理解とご協力の賜物であります。  
下期も同様にご協力をお願い致します。

国際奉仕委員会

上期は南米パラグアイ『浦河文庫』への図書寄贈を致しました。例年通りですが今後も継続していく大事なことであると思っております。  
また、9月には中壠よりゲスト2名（1名は中壠RC、現姉妹クラブ会員）が来日し、副委員長が歓迎会を開くなど交流を深めました。

新世代委員会：  
青少年を対象とした野外活動を主に活動しました。特に、日本ハムの現役コーチ等を招き開催した野球教室は印象に残ります。今後ともロータリーの主旨を理解して頂ける様な活動を目指していきたいと思えます。

会員増強委員会：  
今期の会員減少に歯止めを掛けようと頑張りました。会員の協力を得て、徐々に増えていますが、まだまだ頑張ろうと思っておりますので宜しくお願い致します。

## 第9グループ



ガバナー補佐  
川岸 洋一

### ■会長・幹事会の開催について

- 第1回 2005年6月17日(金) 出席 14人  
①第9グループ年間行事予定について  
②会長・幹事会担当クラブについて
- 第2回 2005年8月2日(火) 出席 14人  
①ガバナー公式訪問について  
②第9グループIMについて
- 第3回 2005年10月24日(月) 出席 14人  
①第9グループIMについて

### ■担当グループ特記事項

- (1)会長・幹事会は、グループ内6クラブ持ち回りで、年6回開催の予定です。  
(2)会員数は、年度当初に比べ、伊達+4、室蘭東+4、室蘭北+1、登別+1で

あり、減ったクラブがないので、第9グループとして+10名が増強されています。

(3)9月17日(土)・18日(日)に洞爺湖畔で第18回北海道ツーデーマーチが開催され、室蘭クラブが参加し、洞爺湖クラブと伊達クラブがフォローしています。

(4)11月23日(水)に伊達クラブ主管による第9グループのIMが開催された。

第1部は、日ハム選手と語ろう『子供たちに夢と感動を、そして勇気を』と題して、スポーツ少年団の野球少年約250名と日ハム選手4名のトークショーと野球教室を行った。

第2部は、日ハム球団の三澤社長補佐による講演と、第9グループ会員による懇親会が和やかに開催された。

### ■担当クラブ訪問報告

◎室蘭RC:訪問数2回

創立以来70年に及ぶ歴史と伝統が、会員相互の信頼と連帯感を引継いでおり、厳粛な例会を行っており、誇りが感じられるクラブである。

地区WCS委員長を輩出していることから、クラブを挙げての支援体制が出来ており、タイの井戸整備事業へ参画する意欲が現れている。

◎伊達RC:所属クラブ

第9グループ最多の会員を抱えるクラブであり、活気が感じられる。

IM主管を会員間の友好のチャンスとし、多くの会員が参画して活動した結果、参加者に喜ばれるIMとなった。親睦活動が得意なクラブである。

◎室蘭東RC:訪問数2回

職業奉仕活動としての、「あれこれ何でも無料相談」がユニークであり、相談者が多く、非常に喜ばれている。インターアクトのスポンサーとなっており、会員と合同の清掃活動等を行っている。

趣味同好会として、ゴルフ・ワイン会・銘酒会・パソコン・囲碁等を持ち、会員間の親睦に役立っている。

◎登別RC:訪問数2回

昨年度地区ガバナーを輩出し、地区大会を主管した自信が溢れている。本年度はクラブの将来を見出すことを重点に考えている。

会員の釣果であるやまべを、数種類に調理して夜間例会で食べる「やまべを食する会」はユニークであり、うらやましい。

◎室蘭北RC:訪問数2回

ローターアクトのスポンサーになっているが、今までの学生中心から社会人中心への移行を推進している。地域に密着した事業を継続的に行っており、

地味ではあるが堅実な活動をしている。

和気あいあいと調和のとれたクラブである。

◎洞爺湖RC:訪問数2回

少ない会員数ではあるが、奉仕活動に意欲的な印象がある。

例会が友好的なので、あとは会員数を増やすことが課題であり、町村合併を機会に、何とか会員増強を成功させてほしい。

## 第10グループ



ガバナー補佐

田村 貞雄

第1回 6月18日(土) 出席 37人

- ①次年度交換学生分担金について
- ②合同事務所運営担当クラブ引継ぎについて
- ③第10・11グループ青少年交換協議会規約変更について
- ④会長・幹事会の当番クラブについて
- ⑤新クラブ(函館セントラルRC)についての経過説明

第2回 8月5日(金) 出席 25人

- ①合同事務所運営協議会規約変更について
- ②合同事務所運営人頭分担率について
- ③合同事務所2005-06年度運営予算について
- ④IM開催について

第3回 10月7日(金) 出席 24人

- ①IMについて
- ②2004-05年度合同事務所決算報告
- ③合同事務所就業規則変更について

第4回 12月2日(金) 出席 21人

- ①IM開催について

### ■担当グループ特記事項

・函館ロータリークラブ  
奉仕活動について

- (1)会員の卓話を出るだけ充実させ、広く会員の協力を呼びかける。  
部外者の卓話、郷土史等の文化論  
医療関係シリーズ、時局問題シリーズ、教育・福祉シリーズ
- (2)職業奉仕月間の卓話については、会員に職業奉仕の意識と行動が高まるよう、地域職業奉仕委員会が推進する人に講演を要請する。

・函館亀田ロータリークラブ  
奉仕活動について

- (1)毎年10月に、会員全員出席して「子

供から大人までの何でも相談」を行ってみたい計画。

(2)「くるみ学園」園児との芋掘り体験事業及び家族会計画

・森ロータリークラブ

奉仕活動について

- (1)毎年クリスマス家族会のチャリティオークションを実施。その収益金の一部を森町の社会福祉協議会に贈呈。
- (2)例会、各種会合案内を、携帯メールで案内している。

・七飯ロータリークラブ

奉仕活動について

- (1)「チャリティカレンダー市」を主催し、その益金を社会奉仕事業団体等へ寄付計画。
- (2)会員増強に関するクラブ・プログラムを計画。

・長万部ロータリークラブ

奉仕活動について

- (1)毎週木曜日に、高齢者を入浴される。
- (2)交通安全週間には積極的に参加。

・函館セントラルロータリークラブ(当地区73番目の新クラブ・第10グループ担当)

平成17年7月20日 国際ロータリー加盟認証(認証状伝達式:9月3日)

奉仕活動について

- (1)会員の卓話:自己研鑽の材料であり積極的に登壇するよう要請。
- (2)1市3町1村が合併した事に伴い、各地域の歴史や今日抱える課題等についての講演を依頼する。

以上、新クラブの活動計画は全て新鮮味があり、初心に帰った気持ちで引き締めを感じた。

## 第11グループ



ガバナー補佐

藪下 義晴

### ■会長・幹事会の開催について

①平成17年度6月18日 37人

(新旧引継ぎ会議)次年度交換学生分担金について、合同事務所運営担当クラブ引継ぎについて、10・11グループ青少年交換協議会規約変更について、会長幹事会ローテーション(当番クラブ)についての経過説明について、

②平成17年8月6日 25人

合同事務所運営協議会規約の変更について、合同事務所運営人頭分担率率について、合同事務所2005-2006年度運営予算

について、IM開催について

③平成17年10月7日 24人  
IMの開催について（10・11グループの合同開催とする）、2004-2005年度合同事務所決算について、合同事務所就業規則の変更について

④平成17年12月2日 21人  
IM開催について（幹事会にて詳細の詰めを行う事とする）

### ■2006-07年度 下期活動計画書

会長・幹事会開催…2月、4月、8月開催予定。

函館大学ローターアクトクラブ創立35周年記念式。

10・11グループ合同IM開催。

各クラブ事業に対する協力。

### ■担当グループの特記事項

#### ※函館東RC

会員数の前年比20名近い減少からのスタートでしたが、会員相互の親睦度も増し、出席率の向上につながっているが、新入会員の入会がなかなか進まず、苦慮しているという事ですが、提唱ローターアクトクラブの周年記念や、友好クラブとの交流を推進するなど、また財団への寄付目標を達成するべく積極的に活動している。

#### ※江差RC

会員の減少の中で、函館五稜郭クラブや、札幌モーニングクラブとの交流など、積極的に進め、また、地域に対する奉仕活動、特に地域における特殊な技術・技能者を表彰するなどの事業に力を注いでいる。

#### ※函館北RC

「温故知新」“ロータリーに愛を”をテーマに掲げ、会員の親睦と社会奉仕活動を重点に活動している。クラブ会員を三つのグループに分け、会員増強や社会奉仕などについて討議する為のサポート会議を立ち上げ活発な意見交換を行っている。また、9月のガバナー公式訪問に合わせて、退会した元会員を招待して例会を行うなど、会員増に結びつけようと努力している。

#### ※松前RC

会員9名と少ないながら、松前町のシンボルとも言える桜の木の保存事業に力を入れている。

#### ※函館五稜郭RC

各種行事などに積極的に参加して、地域との交流をはかりながら会員相互の親睦にも力を入れている。さらに五稜郭RC合唱団「DAM」によるチャリティーコンサートでの益金を財団に寄付するなど活発な奉仕活動を続けている。

#### ※上磯RC

継続的に行っている薬物乱用防止キャンペーンや、社会福祉法人での花壇整備奉仕など地域に対する社会奉仕活動が活発なクラブである。また次年度はGSE派遣メンバーを推薦するなど積極的なクラブ運営をしている。

総体として、各クラブ共に会員増強にはクラブを挙げて取り組んでいます、思うように新入会員の入会が進まずに苦慮している。しかし、財団に対しての一人100ドル寄付など目標を達成するべく努力をしている。

また、奉仕活動に対しても諸々の厳しい状況の中で、会長さんはじめ理事の皆さん方は現状を踏まえながらも、クラブの特色を出した活動を模索していることが窺えます。

### ■各クラブ前期活動報告書

#### 函館東RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数1回  
7月1日会員数43名 入会 2名  
退会 3名  
1月1日42名 純増-1名  
7月9日・大森浜の清掃奉仕活動の実施。  
10月18日・会員の新規事業の工場見学を実施。  
12月25日・家庭に眠るピアノの寄贈事業として、10台目を函館中央病院に寄贈。

#### 江差RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回  
7月1日会員数17名 入会 0名  
1月1日17名 純増 0名  
7月24日・松山森づくり「全国植樹祭～馬場山」への参加、並びにロータリーの森を整備。  
8月11日・五稜郭RCメンバーと共に姥神大神宮祭に参加。  
10月1日・江差ロータリークラブ杯パークゴルフ大会を開催。  
10月25日・とりっこ例会において、職業奉仕表彰（北前船模型制作で功績のあった船大工・岩佐満氏）をした。

#### 函館北RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回  
7月1日会員数32名 入会 1名  
退会 1名  
1月1日32名 純増 0名  
9月7日・ガバナー公式訪問に合わせて、元会員を招待しての例会開催  
9月14日・七重浜海浜公園（洞爺丸海難事故慰霊碑）清掃奉仕

#### 松前RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回  
7月1日会員数9名 入会 0名  
退会 0名

1月1日9名 純増 0名  
12月20日・松前消防団松前分団に対し、分団旗を贈呈。

#### 五稜郭RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数1回  
7月1日会員数63名 入会 3名  
退会 2名  
1月1日64名 純増 1名  
7月・8月に開催の函館野外劇へ地域交流委員会が主体となり、9回の公演に30名の会員が参加。

10月29日・ラサール高校インターアクト委員会と合同で足長学生募金活動（インターアクト委員会）実施。

11月11日・清尚学院高等学校で市内PTA母親保護者37名を招待し、会員の協力でのケーキ作りを母親研修として楽しく学んで貰った。（職業奉仕委員会）

11月18日・五稜郭RC35周年事業として寄贈した書架の引き渡しと、会員へのお披露目をした。

11月23日・五稜郭RC合唱団「DAM」チャリティーコンサート開催。（益金はロータリー財団へ寄付）

#### 上磯RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回  
7月1日会員数26名 入会 0名  
退会 2名  
1月1日24名 純増-2名  
11月5日・薬物乱用防止キャンペーン並びに募金活動実施。  
12月21日・上磯社会福祉協議会へ10万円の寄付。

### ■各クラブ後期活動計画書

#### 函館東RC

提唱ローターアクトクラブ創立35周年事業の開催  
家族例会としてボウリング大会を実施  
友好クラブを函館にお招きし、交流する地区目標の一人100ドル寄付の達成

#### 江差RC

地域との交流を目的にロータリー杯パークゴルフ大会の開催  
北前船海港20周年記念行事への協賛  
ホームページの編集・開設  
ロータリーの森植樹及びバーベキュー懇親会の開催

#### 函館北RC

七飯ロータリークラブ（11グループ）との合同例会開催  
職業訪問例会の実施

#### 松前RC

松前の観光の目玉になっている松前公園の桜の保存活動を継続事業として実施。

#### 函館五稜郭RC

旧3町1村への花壇整備用具の贈呈

銭湯での入浴マナー教室の開催  
函館五稜郭祭維新パレードへの参加  
上磯RC  
おしまコロニー花壇整備

第12グループ



ガバナー補佐  
蝦名久志

■会長・幹事会の開催について

第1回 平成17年4月18日(月) 出席 8名  
苦小牧東ロータリークラブ事務局

- ①ガバナー公式訪問の日程について
- ②ガバナー補佐例会並びにクラブ協議会への出席について
- ③インターシティ・ミーティングの開催について
- ④4クラブ合同事業について  
\*会員名簿共同作成・親睦ゴルフ大会等

第2回 平成17年7月21日(木) 出席 9名  
苦小牧市 第一洋食店

- ①第3回I・M実施について  
\*9月11日(日)テーマ「友情と親睦」
- ②4クラブ合同の事業について
- ③今後の会長・幹事会開催について  
\*定例 7・10・2・5月

第3回 平成17年10月22日(土) 出席 9名  
白老町 アマノファーム

- ①ガバナー補佐報告
- ②次期ガバナー補佐推薦依頼  
\*次期予定 白老ロータリークラブ
- ③各クラブ会長現況報告
- ④12グループ合同例会開催について  
\*2月23日(日)開催
- ⑤第61回国民体育大会冬季大会  
(1月28日～2月1日 苦小牧市)  
姉妹クラブ・友好クラブの県代表選手団の応援

■担当グループ特記事項

- 1.グループ内会員の親睦を深めるため、親睦ゴルフ会を開催：7月13日(水)  
◇ホストクラブ：苦小牧東RC  
◇場所：樽前カントリークラブ  
参加人数 32名
- 2.第3回インターシティ・ミーティング開催：9月11日(日)  
◇ホストクラブ：苦小牧東RC  
◇テーマ「いまこそ友情と親睦」  
◇開催場所：苦小牧アルテン  
◇参加人数：会員・会員家族・留学生 100名
- 3.第2510地区年次大会 10月15、16日

◇第12グループ登録 89名

■各クラブ報告

◇苦小牧ロータリークラブ

◎クラブ訪問：4月25日次年度クラブ協議会・7月8日例会訪問・9月2日ガバナー公式訪問・12月16日例会訪問

- 1.11月末現在の会員増強の推移  
〔期首会員数 55名〕  
〔期中入会 5名 期中退会 0名〕  
〔11月末 会員数 60名〕
- 2.ロータリー財団・米山奨学会  
〔財団目標額 \$6,200〕  
〔11月末達成額 \$711.23〕  
〔米山目標額 未定〕  
〔11月末達成額 112,000円〕

3.上期の主な活動計画とその報告  
12グループIM・ガバナー公式訪問・地区大会参加・次期役員理事の選挙等、平常のクラブ活動に加えて姉妹クラブ相模原RCを公式訪問した(10月27、28日)。

なお、12月2日年次総会において創立50周年記念事業実行委員会の設立を決定した。

- 4.下期の主な活動計画  
◇1月 新年家族会、冬期国体の応援  
◇2月 第3回クラブ協議会、12グループ合同例会  
◇6月 第4回クラブ協議会  
を予定しているほか、会員増強、財団及び米山の寄付の目標達成、50周年事業の準備等に取組む事になっている。

5.特記すべき奉仕プロジェクト  
◇50周年記念事業の準備を実行委員会と協力して行う

◇高校生の奨学金制度を実施しているが、これを廃止する方針であり代わるべき奉仕案について検討する

6.クラブの特徴・問題点  
次年度に実施する50周年記念事業の準備に大きな努力を注入することになるが、その活動を通じて会員の親睦を深め、クラブの活性化を図りたい。

◇苦小牧東ロータリークラブ

◎クラブ訪問：5月25日次年度クラブ協議会・7月7日例会訪問・9月1日ガバナー公式訪問・12月15日例会訪問

- 1.11月末現在の会員増強の推移  
〔期首会員数 31名〕  
〔期中入会 1名 期中退会 2名〕  
〔11月末 会員数 30名〕
- 2.ロータリー財団・米山奨学会  
〔財団目標額 \$3,200〕  
〔11月末達成額 \$394.3〕  
〔米山目標額 300,000円〕  
〔11月末達成額 191,676円〕

3.上期の主な活動計画とその報告

- 1.IMのホストクラブとして、会員家族、留学生参加のもと開催した
  - 2.留学生、市内外の外国人との交流(キャンプ、ミニスポーツ大会)
  - 3.会員家族との親睦会(親睦旅行、キャンプ)
  - 4.東ロータリークラブ杯小学生スピードスケート大会
  - 5.職業奉仕フォーラムの開催
  - 6.会員親睦ゴルフ大会の開催(年4回)
  - 7.赤い羽根募金活動の参加
- 4.下期の主な活動計画

- 1.市内在住の外国人による日本語弁論大会(3月12日 \*地区補助金申請事業)
- 2.苦小牧工業高等学校卒業生への交通安全講話の実施(2月)
- 3.各委員会の活動計画の完全実施
- 4.財団寄付、米山記念奨学寄付への会員の積極的参加を募ります
- 5.親睦活動を積極的に行います(退会防止、例会出席率向上を目指して)

5.特記すべき奉仕プロジェクト  
◇月1回の「ロータリーの友」の記載記事の中からトピックの朗読発表は会員に「ロータリーの友」をより身近なものにしたようです。

◇会員増強の為の例会を開催し、会員に増強の重要性を伝えた。下期には数人の増強が見込まれる。

◇会員の傘寿、古稀お祝い例会、会員家族親睦旅行、親睦ゴルフ大会と多くの親睦活動に努めた。ニコニコボックスも会員の理解で予定通りに推移。

◇10月の職業奉仕月間に地区委員長砺波氏を講師に招き「職業奉仕フォーラム」開催

◇第13回苦小牧東ロータリークラブ杯小学生スピードスケート大会の開催。

6.クラブの特徴・問題点  
例会出席率の低下傾向・会員減少・委員会活動の停滞等当面する問題をいかに解決するかが下期の課題であります。活動計画通り積極的な委員会、計画倒れになりそうな委員会もあります。大きな活動はなくても地道な活動を続けて参ります。

◇白老ロータリークラブ

◎クラブ訪問：6月7日次年度クラブ協議会・7月12日例会訪問・9月13日ガバナー公式訪問・11月29日例会訪問

- 1.11月末現在の会員増強の推移  
〔期首会員数 23名〕  
〔期中入会 0名 期中退会 0名〕  
〔11月末 会員数 23名〕
- 2.ロータリー財団・米山奨学会  
〔財団目標額 \$2,000〕

[11月末達成額 \$2,000]  
[米山目標額 30,000円]  
[11月末達成額 0円]

3. 上期の主な活動計画とその報告

1. 白老ロータリークラブ杯少年サッカー大会の開催 (2005年10月16日)  
普段は試合に出場出来ない年少者も参加できる大会で子供達が楽しみにしている大会です。

2. 姉妹クラブ交流 (2005年8月5日～8年6日)

姉妹クラブである仙台西ロータリークラブを訪問、東北三大祭り“仙台七夕まつり”を堪能し、親睦ゴルフ、バスでの観光等交流親睦を深めた。

4. 下期の主な活動計画

1. 子供の安全に対する運動 登下校時の通学路での声かけ運動を検討

2. 桜苗木の植樹 町内施設へ100本の桜の苗木植樹

5. 特記すべき奉仕プロジェクト

◇仙台西ロータリークラブとの姉妹クラブ交流

◇白老ロータリークラブ杯少年サッカー大会の開催

◇職業奉仕月間に地区職業奉仕委員を招き、職業奉仕についての卓話をお願いした

6. クラブの特徴・問題点

会員増強が困難であることから、退会防止に努めたい

◇苦小牧北ロータリークラブ

◎クラブ訪問：5月10日次年度クラブ協

議会・7月5日例会訪問・10月25日ガバナー公式訪問・12月13日例会訪問

1. 11月末現在の会員増強の推移

[期首会員数 37名]  
[期中入会 1名 期中退会 0名]  
[11月末 会員数 38名]

2. ロータリー財団・米山奨学会

[財団目標額 \$5,160]  
[11月末達成額 \$1,676]  
[米山目標額 658,000円]  
[11月末達成額 433,496円]

3. 上期の主な活動計画とその報告

◇北ロータリークラブ杯少年サッカー大会の開催

◇RCC苦小牧家庭生活カウンセリング協会に対する活動支援

◇アイスレッジホッケーチーム「北海道ベアーズ」への支援

◇緑の羽根・赤い羽根共同募金に対する支援

◇米山記念奨学生としてホストした笹村久美子さん(留学先ロシア・モスクワ)を招き帰国報告の例会卓話をして頂きました

4. 下期の主な活動計画

◇クラブ内趣味の会を計画

◇姉妹クラブ石巻ロータリークラブとの交流会

◇会員全員の例会時卓話を達成する

◇市民無料健康相談の継続

◇米山功労者の増加

5. 特記すべき奉仕プロジェクト

◇「市民無料健康相談」(ロータリー

財団補助金プログラム)を実施

実施期間：平成17年7月1日～平成18年6月30日(毎月2回)

開催場所：苦小牧市 プラザホテルニュー王子

目的：自分の健康について不安をもつ市民に対して、医師であるロータリアンが相談に応じ、不安感を取り除くよう努力する。生活習慣病に対しては、具体的に助言し健康回復による市民の生活向上に役立てたい。

◇国際友好クラブ、タラデルロータリークラブ(ニュージーランド)との交流会。

苦小牧市・ネーピア市姉妹都市締結25周年記念にネーピア市への表敬訪問交流にあわせて、両クラブとの交流会を開催しました。当クラブから会長はじめ5名の会員とご夫人が参加旧交を深め、今後更なる交流を深めることを確認した。

6. クラブの特徴・問題点

◇会員増強が困難な中上期1名の新会員を迎えた。下期増強へ尚一層努力したい。

◇会員親睦・退会防止・出席率向上に繋がるよう月1回の移動例会を実施し、成果を上げている。

## 2007-08年度GSEプログラムがマレーシアの3300地区に内定

地区GSE副委員長 武藤 順 (札幌西RC)

従来米国、カナダそしてオーストラリアと交換していたGSEプログラムをロータリー財団の強い意向によりアジアの地区と交流する事になり第1回目がフィリピンのメトロマニラの3380地区と2002-04年度に実施し、更に2004-06年度にはタイのバンコックの3350地区と実施する事になった。今年2月25日に橋本信夫チームリーダーと4名のメンバーがバンコックに出発予定である。

2006-07年度は予算の関係で休んで、2007-08年度にもう一度アジアの地区とのGSEプログラムを計画して、最初にシンガポールが比較的政情も落ち着いているので2005年8月に申込をする事になった。ところがシンガポールの3310地区はマレーシアとブルネイと三国に跨っているためにガバナーも交代で各国から出ており、三国で色々相談するとなると地域的、時間的に中々難しく現ガバナーとガバナー・エレクトに夫々メールとパンフレットなどの資料を送付したが返事が全く来なかった。

そこで次善の策としてマレーシアの3300地区のガバナーに2005年10月に申し込みのメールを送った所、直ぐに返事が来てガバナーエレクトを紹介してくれて更にGSE担当者からも返信メールが

届いた。ところがその前の8月にブラジル・サンパウロの4430地区からGSEの申し込みがガバナー事務所に届いた。日本語が対応出来るというので非常に興味を持ったが、相手側の都合でキャンセルになった。更に2005年10月にニュージーランドの9930地区の2007-08年度ガバナー・エレクトが東京の国際会議に来日した際に札幌まで足を伸ばして丸山淳士ガバナー・エレクトを表敬訪問して是非当地区とのGSEプログラムを、と提案した。

それでマレーシアの3310地区とニュージーランドの9930地区とメール交換を始めたが、両地区とも熱心に当地区とのGSEプログラムを希望して、当地区としてもいづれかに決めなければならなくなった。ガバナー、エレクト、そしてノミニ、更にロータリー財団委員長とも密接に連絡を取りご相談をしてGSE委員会でも白熱の議論が展開したが、結局もう1回アジアとのプログラムをしようということになり、マレーシアの3300地区との交換に内定した。

以上状況を報告いたして皆様へのGSEへのご理解とご協力をお願い致します。



## 2007-08年度RI会長ノミニーに ウィルキンソン氏が正式に決定

2005年12月5日に、RI会長指名委員会によって選出された、カナダ・オンタリオ州トレントンRCのウィルフリッド J. ウィルキンソン氏が、1月5日、正式に2007-08年度RI会長ノミニーとなりました。

同氏は、公認会計士事務所、ウィルキンソン・アンド・カンパニーの共同創設者です。2001年に退職して以来、カナダ・クインテパレエスクール (Quinte Ballet School of Canada) の常任理事ならびに全国法廷会計士協会 (National Association of Forensic Accountants) のカナダ担当コーディネーターを務めてきました。

1962年にロータリアンとなったウィルキンソン氏は、現在、ポリオ・プラス全国提唱顧問、ポリオ・プラス・パートナー・グループの委員として活躍中です。これまでは、財団管理委員、RI理事、RI副会長、地区ガバナーをはじめ、国際協議会グループ討論リーダー、各種委員会の委員長および委員、実行グループ委員、諮問委員会委員などを歴任してきました。極最近では、2005年シカゴ国際大会委員会委員長およびRIのアフガン難民救済プロジェクト副委員長を務めました。

(RIホームページより抜粋)

## RI3700地区(韓国、大邱) 地区大会のご案内

ガバナー 塚原 房樹  
国際友好委員長 矢橋 温郎

当地区と3700地区とは2年前に姉妹地区提携を結びました。それを踏まえて昨年の当地区の地区大会には、韓国より南星姫総裁を始め大勢のロータリアンが参加され大会に花を添えていただきました。3700地区の地区大会は来る4月14・15日に開催されます。まだ大会プログラムの詳細は届いておりませんので、旅程は未定ですが参加ご希望の方はガバナー事務所までお申し込みください。

大会参加と慶州の桜を見て、ソウルの市内観光を含め3泊4日、あるいは4泊5日くらいの日程になろうかと思えます。3700地区より詳細な日程が届き次第、旅行スケジュールをご連絡いたします。

## 新入会員のご紹介 (敬称略)



菊島好孝  
赤平RC  
平成18年1月1日入会



竹島義和  
滝川IRC  
平成18年1月5日入会



村重道男  
札幌東RC  
平成18年1月5日入会



千葉峻三  
小樽南RC(元 札幌東RC)  
平成18年1月5日入会



松岡俊夫  
伊達RC  
平成18年1月10日入会



## パヴェナ基金訪問記・ロータリーの友地区委員より

第4回  
パヴェナ基金訪問記

和田 壬 三 (札幌南RC)

2001-2002年度の当地区の地区大会で知り合ったタイ国バンコック市内のドンミャンロータリークラブのM.Rスイットさんからの支援要請に応じて、同RCのMRSパヴェナさんが個人でしている虐待や差別で苦しんでいる子供と婦人を救うためのボランティア活動への支援を続けて、今年で4年目になります。

パヴェナさんは、妹がミスユニバースという可憐な女性であることに加えて著名な国会議員という要職にあるにも拘らず、自ら直接現場に赴いて虐待されて助けをを求める婦人を助け出し、人身売買によって売春を強制されて助けをを求める幼い子供たちを救い出すという活動を日夜、時間を問わずに実践しています。

今回は、チェンマイまで足を伸ばして、その地方で唯一のエイズ患者に対するバーンサバイという名称のシェルターを運営しながら、エイズに罹患して社会的な差別と病気に対する戦いに苦しんでいる患者を助ける献身的なボランティア活動を続けている札幌出身の早川文野さんにもお会いしその姿勢に感動してまいりました。

当地区のローターアクトクラブからも又室蘭のロータリークラブなどからも寄付を戴いたとの報告も受けました。

現在バーンサバイでは、1500万円の基金を全額取り崩して新しい施設を建設中ということで、基金を使い果たすので、設備や備品の購入費及び運営費は、寄付に頼らざるを得ないと言う事なので心あるロータリアンからの寄付を期待しているようです。



又、タイの最北東部の最も貧しい地方であるチェンマイの、どの方にも聞いてもパヴェナさんのことを知らない人はいませんでした。それほどパヴ



エナさんの活動は、タイ国内の方にも知れ渡っているのです。

今回の訪問時には、真駒内RCの佐々木敦氏を団長格に中山裕規氏（真駒内RC次期地区代表幹事）、佐藤裕一（札幌西RC）八木昌興（同）和田壬三（札幌南RC）他の6名で、11月23日にドンミャンRCを訪れ、パヴェナさんに対し、募金で集まった全額を寄付名簿と共に直接お渡しして参りました。

パヴェナさんは、お忙しい政治活動の中、私たちのために時間を割いてくださり、直接寄付金を受取ってくださいました。

沢山のロータリアンの方々から沢山のご寄付を頂いたお陰で、パヴェナさんからは、心から感謝するという有難いお言葉も頂戴して私達も満足してまいりました。本当に有り難うございます。

また来年も寄付をしに行くつもりです。

毎年の事で恐縮ですが、再び協賛していただければ幸いです。

その場合には、下記口座にご送金の上FAXにて英文（ひらがなでも結構です。）で、フルネームと住所を下記宛にご連絡下さい。

〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目 札幌毎日会館  
和田法律事務所 TEL011-281-0909 fax011-271-4336  
北海道パヴェナ基金支援委員会

記

北洋銀行道庁支店 普通預金 口座番号3473580  
口座名義 パヴェナ基金預かり口 代表 和田壬三

## ロータリーの友地区委員よりお知らせとお願い

ロータリーの友地区委員 黒澤昌彦 (札幌東RC)

地区内クラブの会長・幹事・雑誌委員長はじめ会員の皆様には、平素より「ロータリーの友」誌の購読および投稿を頂き有難うございます。新年1月号には、当地区よりROTARY AT WORKに3クラブの投稿記事が掲載されており、投稿意欲の高さを示しております。引き続き「友」誌への投稿をお願い致します。

この後、3月号には当地区の「地区のたより」が掲載されることになっております。

原稿を寄せられましたクラブの皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。

ところで、クラブ雑誌委員長さんには、「友」誌配布についてのアンケートをお願い致したく近々アンケート用紙を送付いたしますので、ご回答宜しくお願い申し上げます。

さて、4月は「雑誌月間」になっております。クラブ雑誌委員長の皆様には、各クラブ会員の「友」誌を読んだ感想・意見等をお聞きして頂ければ幸いですので宜しくお願い申し上げます。

**ご協力に感謝申し上げます**

**ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます**

**マルチプル・ポール・ハリス・フェロー**

- 宝崎 錠 二会員 1回 (美 唄RC) 12月23日
- 倉増 秀 昭 会員 3回 (岩見 沢RC) 12月16日
- 平野井 繁 会員 1回 (静 内RC) 12月23日
- 中島 滋 会員 2回 (静 内RC) 12月23日

**ポール・ハリス・フェロー**

- 東出 覚 会員 (羽 幌RC) 12月16日
- 渡辺 修 会員 (赤 平RC) 12月23日
- 仙田 哲夫 会員 (赤 平RC) 12月23日
- 政角 勝雄 会員 (長 沼RC) 12月9日
- 藤崎 俊英 会員 (函館セントラルRC) 12月23日
- 橋本 洋一 会員 (苫小牧RC) 12月23日

**米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます**

**米山功労者**

- 吉田 正 治 会員 11回 (滝 川IRC) 12月27日
- 中島 健 会員 6回 (滝 川IRC) 12月27日
- 佐藤 佳 朗 会員 2回 (滝 川IRC) 12月27日
- 中島 誠 一 会員 2回 (滝 川IRC) 12月27日
- 伊藤 和 男 会員 1回 (滝 川IRC) 12月27日
- 今野 正 一 会員 1回 (滝 川IRC) 12月27日
- 井形 昇 会員 4回 (栗 沢RC) 12月21日
- 中村 一 二 会員 4回 (栗 沢RC) 12月21日
- 本田 正 一 会員 4回 (栗 沢RC) 12月21日
- 林 義 明 会員 3回 (栗 沢RC) 12月21日
- 伊藤 ア キ 会員 2回 (栗 沢RC) 12月21日
- 吉山 八 郎 会員 6回 (札幌 東RC) 12月27日
- 山崎 俊 彦 会員 4回 (札幌 東RC) 12月27日
- 神村 信一郎 会員 1回 (札幌 東RC) 12月27日
- 不動 信 之 会員 1回 (静 内RC) 12月7日

- 田頭 博 昭 会員 9回 (室 蘭RC) 12月6日
- 国田 雅 弘 会員 1回 (室 蘭RC) 12月9日
- 鈴木 久 雄 会員 6回 (室 蘭 東RC) 12月9日
- 荒井 孝 亘 会員 1回 (室 蘭 東RC) 12月9日
- 松田 幹 人 会員 1回 (室 蘭 東RC) 12月9日
- 鍋谷 操 子 会員 10回 (函館セントラルRC) 12月6日
- 小泉 護太郎 会員 7回 (函館セントラルRC) 12月6日
- 伊藤 道 雄 会員 1回 (函館セントラルRC) 12月6日
- 能戸 彰 会員 2回 (函館五稜郭RC) 12月9日
- 増田 定 雄 会員 1回 (函館北RC) 12月15日
- 市町 峰 行 会員 1回 (苫小牧RC) 12月22日

**米山功労クラブ**

- 滝 川 RC 22回 12月27日
- 岩 見 沢 RC 24回 12月15日
- 室 蘭 RC 6回 12月6日
- 苫 小 牧 RC 4回 12月22日

**100%『財団の友』  
会員クラブの紹介**

2004-05年度において、芦別RC、札幌あけぼのRC、新札幌RC、函館五稜郭RCが100パーセント『財団の友』会員クラブ（2004-05年度に米貨100ドル以上を年次プログラム基金に寄付）として認証されました。  
各クラブには各々写真の認証バナーが贈呈されます。  
ロータリー財団へのご支援に感謝申し上げます。



**例会変更について・文庫通信****例会曜日・例会時間・例会場の変更について**

- 室蘭東RC：2月18日（土）あれこれなんでも無料相談室 13：00～17：00  
場所：室蘭市民会館1F  
2月22日（水）振替休会
- 江別RC：2月16日（木）移動夜間例会 18：30  
場所：花寿し（江別市5条7丁目 TEL011-382-3389）
- 江別西RC：2月11日（土）移動例会 11：00～  
場所：スノーフェスティバル会場（江別市役所裏）  
2月14日（火）休会（2月11日の振替）  
2月21日（火）休会（定款第5条により）  
2月28日（火）職場訪問例会 12：30～  
場所：江別市消防本部
- 苫小牧東RC：2月23日（木）夜間例会「12グループ4クラブ合同例会」 18：00～  
場所：グランドホテルニュー王子
- 苫小牧北RC：2月14日（火）夜間例会「クラブ協議会」18：00～  
場所：グランドホテルニュー王子  
2月28日（火）移動例会「傘寿の祝い」18：00～  
場所：グランドホテルニュー王子16F「グランビュー」

**文庫通信 220号**

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

**「興味深いシンポジウムから」**

- ◎「今ロータリーに求められる国際貢献」  
五月女光弘 2005 8p (D.2600地区大会)
- ◎「ロータリーの理念を再認識しよう」  
深川純一 他 2005 19p (D.2780地区大会)
- ◎「ロータリーの本質に目を向けよう」  
廣畑富雄 他 2004 8p (D.2700地区大会)
- ◎「ロータリーの魅力と仲間づくり そして未来へ」  
大川恒久・蝦名三保子 他 2005 14p (D.2590地区大会)
- ◎「どないすんねんロータリー」  
安平和彦 他 2005 18p (D.2680地区大会)
- ◎「つなぎ・育てたい・身近な文化」  
夏原晃子 他 2005 10p (「未来を拓く高校生会議」記録誌)  
[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「安全・安心・まちづくり 講演とパネルディスカッション記録誌」  
小田啓二 他 八戸南R.C. 2005 35p  
[申込先：ロータリー文庫]
- ◎「RYLAからロータリアンが得るもの」  
2005 24p (「全日本RYLA大会及びRYLAワークショップ報告書」)  
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

**ロータリー文庫**

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

**国際ロータリー為替レート 2006年2月 米貨1ドル=114円**

## 地区カレンダー (2月・3月)

2月 世界理解月間	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	地区クラブ奉仕委員会 (札幌) 第3回RI指針検討会 (大阪)
5 (日)	米山奨学生選考試験 (札幌)
6 (月)	ガバナー・エレクト/米山奨学委員長合同セミナー (東京)
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	建国記念の日 函館大学RAC創立35周年記念式典 (函館)
12 (日)	
13 (月)	2007-08国際親善奨学生募集開始
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	～23 (木) 国際協議会 (米国・サンディエゴ)
17 (金)	
18 (土)	第4・5グループIM (札幌) 全国ローターアクト研修会 (大阪)
19 (日)	全国ローターアクト研修会 (大阪)
20 (月)	
21 (火)	
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	派遣GSEチーム出発 (タイ第3350地区)
25 (土)	第2グループIM (滝川)
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	

3月	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	2006年3月終了米山奨学生歓送会 (札幌)
5 (日)	地区チーム研修セミナー (札幌)
6 (月)	
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	
12 (日)	
13 (月)	ロータリーの友委員会 (東京)
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	
17 (金)	
18 (土)	地区ローターアクトセミナー (札幌) 2006-07国際親善奨学生合宿オリエンテーション
19 (日)	
20 (月)	
21 (火)	春分の日
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	
25 (土)	地区R財団セミナー、米山セミナー (札幌) 会長エレクト研修セミナー (札幌) 派遣GSEチーム帰国予定
26 (日)	会長エレクト研修セミナー (札幌)
27 (月)	
28 (火)	
29 (水)	
30 (木)	
31 (金)	

## 12月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,986人
当月末会員数 (女性)	3,064人 (98人)
増加会員数	78人
当月平均出席率	84.92%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	05.12.31	増減	内女性	
1	深 川	3	38	38	0	2	89.81
	羽 幌	4	49	45	-4	1	78.80
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	77.50
	小 平	3	13	13	0	0	79.49
	留 萌	3	49	50	1	0	93.79
	小 計		159	156	-3	3	83.88
	2	赤 平	3	34	34	0	2
芦 別		4	48	48	0	0	85.47
砂 川		3	50	52	2	0	95.24
滝 川		4	106	109	3	1	77.00
小 計			238	243	5	3	86.40
3	美 唄	4	41	41	0	0	90.71
	江 別	3	36	38	2	1	93.69
	江 別 西	4	35	36	1	3	90.96
	岩 見 沢	3	95	94	-1	0	90.18
	岩 見 沢 東	3	35	36	1	4	86.83
	栗 沢	3	24	24	0	1	90.27
	栗 山	3	26	28	2	2	93.36
	当 別	3	38	36	-2	1	81.58
小 計		330	333	3	12	89.70	
4	札 幌	3	123	137	14	0	97.55
	札幌あけぼの	3	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	3	23	25	2	4	81.94
	札 幌 北	4	43	41	-2	5	96.88
	札幌モーニング	3	53	51	-2	0	69.94
	札 幌 西	3	72	71	-1	4	91.41
	札 幌 西 北	3	48	49	1	2	90.43
	札 幌 手 稲	4	41	40	-1	1	97.59
小 計		419	430	11	17	90.72	
5	札 幌 東	4	121	116	-5	0	97.35
	札 幌 清 田	3	28	30	2	7	100.00
	札 幌 幌 南	3	70	69	-1	0	100.00
	札幌真駒内	3	46	47	1	3	90.67
	札 幌 南	4	89	93	4	0	98.13
	札幌大通公園	3	19	18	-1	4	66.66
	札幌セントラル	4	17	18	1	5	70.40
	新 札 幌	3	32	34	2	2	94.45
小 計		422	425	3	21	89.71	

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	05.12.31	増減	内女性	
6	岩 内	4	28	30	2	0	79.63
	倶 知 安	3	50	50	0	3	54.00
	小 樽	4	64	70	6	1	82.95
	小 樽 南	3	82	79	-3	0	87.61
	小 樽 銭 函	4	25	25	0	3	90.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	86.35
	余 市	3	44	45	1	4	89.60
	小 計		304	310	6	11	81.45
7	千 歳	5	61	65	4	3	84.60
	千歳セントラル	3	27	28	1	0	89.30
	恵 庭	3	49	49	0	0	87.19
	北 広 島	3	17	17	0	2	90.20
	長 沼	3	18	18	0	3	85.19
	由 仁	4	13	13	0	0	98.08
	小 計		185	190	5	8	89.09
8	え り も	5	23	23	0	0	78.26
	三 石	4	16	17	1	1	88.20
	様 似	3	18	18	0	1	69.44
	静 内	3	66	73	7	0	73.27
	浦 河	3	33	35	2	1	100.00
	小 計		156	166	10	3	81.83
9	伊 達	3	55	59	4	0	81.35
	室 蘭	4	50	50	0	0	77.55
	室 蘭 東	3	43	47	4	0	93.00
	室 蘭 北	3	37	38	1	2	100.00
	登 別	3	36	35	-1	2	83.78
	洞 爺 湖	3	9	9	0	0	81.50
	小 計		230	238	8	4	86.20
10	函 館	4	91	89	-2	0	85.11
	函 館 亀 田	4	43	45	2	1	80.00
	森	4	42	41	-1	0	82.40
	七 飯	3	20	22	2	0	62.10
	長 万 部	3	10	10	0	0	66.00
	函館セントラル	4	0	30	30	2	67.50
	小 計		206	237	31	3	73.85
11	江 差	4	17	17	0	0	82.50
	函館五稜郭	4	63	63	0	0	92.86
	函 館 東	3	43	42	-1	4	83.33
	函 館 北	3	32	32	0	0	87.10
	上 磯	4	26	24	-2	2	63.50
	松 前	4	9	9	0	1	70.00
小 計		190	187	-3	7	79.88	
12	白 老	3	23	23	0	0	80.00
	苫 小 牧	3	56	58	2	1	63.70
	苫 小 牧 東	4	31	30	-1	3	86.21
	苫 小 牧 北	4	37	38	1	2	90.00
	小 計		147	149	2	6	79.98
合 計		2,986	3,064	78	98	84.92	

**SERVICE** Above Self

